

営業時間		9:00～16:00	送迎実施の有無	無し	
事業所理念		人との関わりを経験し、また、その関わりを支えとし、子どもたちが様々な体験と学習の場に参加できるように支援していく。それらの経験により、日常生活及び社会生活(地域での生活)がより豊かなものとなるように、そのための、子ども1人1人の発達段階に応じた具体的な力を培っていけるように、総合的な支援をおこなう。			
支援方針		小集団でのグループ指導と、定期的な個別指導を通して、就学前のお子さんの発達を支援します。 親子通所と、保護者の方との個別面談を通して、子育てに悩む保護者の方、ご家族のサポートをします。			
支援内容					
	対象児	0歳・1歳・2歳児（ほし組）		3歳・4歳・5歳児（うみ・にじ・つき組）	
本人支援	健康・生活	健康状態の維持・改善、生活習慣や生活リズムの形成、日常生活動作等基本的技能の獲得			
		・登園時の心身状態の把握 ・生活リズムの安定(定期的かつ定時に通所、子どもに伝わる形での予定の提示) ・衣服や靴の着脱の自立に向けて経験を積む。 ・「お支度」やお片付けができるようになる。	・登園時の心身状態の把握 ・生活リズムの安定(定期的かつ定時に通所、子どもに伝わる形での予定や手順の提示) ・衣服や靴の着脱の自立、ボタンの留め外し、ファスナー、紐を結ぶなどが自分でできるようになる。 ・お手伝いをおこなう		
	運動・感覚	身体全体の運動機能を高める、姿勢と運動(粗大、微細共に)・動作の技能の向上、感覚受容の幅を広げる			
		活動:「サーキット」「室内運動あそび」「体操」「音楽・リズム運動」 ゆさぶりあそび(「サンドイッチ」「シーツブランコ」)、「手あそび」 「くすぐりあそび」「造形活動(絵の具、紙粘土、土粘土、小麦粉粘土、片栗粉、紙あそび、トイレットペーパー粘土など)」	活動:「巧技台」「室内運動あそび」「体操」 「まねっこ体操」(自分の身体に意識を向ける、身体のを抜く、などを目的とした運動課題)、ゆさぶりあそび(「サンドイッチ」) 「手あそび」、クレヨンやはさみ・のりを使った活動、書字練習(5歳児のみ)、「造形活動(絵の具、紙粘土、土粘土、小麦粉粘土、片栗粉、紙あそび、トイレットペーパー粘土など)」		
	認知・行動	認知の特性についての理解と対応、対象や外部環境の適切な認知と適切な行動の習得			
		・様々な活動を通して、興味関心を広げる ・興味のあるあそびをじっくりと楽しむ ・集会活動(朝の会・帰りの会)において、集団のルールを受け入れて一緒に過ごしてみる、お話をきく態度、などを育てる。手あそび等をみんなと楽しむことにより、模倣の力を引き出していく。絵本やパネルシアターなどに興味を持ち、積極的に関わる力を引き出していく。 ・視覚情報(写真、イラスト、動作サインなど)を取り入れる。 ・認知課題に取り組むことで、形を捉える力、物を操作する力の伸長、理解言語の増加、につなげる。 ・「できた」「伝わった」という体験を大事にする。	・集会活動(朝の会・帰りの会)において、ひとの話をきいたり、自分の事柄について発言したりする経験を積む。絵本やお話、パネルシアター等に興味をもち、積極的に関わる力を引き出し、適切な表現方法についても知っていく。 ・「まねっこ体操」では、支援者の援助を受け入れて、相手に合わせて行動する体験を積む。 ・ルールのある活動(「くまさん郵便」「宅急便」「劇あそび」など)に取り組むことで、適切な行動や様々な言葉に触れること、意思を伝える経験を積む。 ・子ども1人1人に合わせた認知課題へ取り組む。		

	言語・コミュニケーション	コミュニケーション能力の向上、言語の受容と表出、状況に応じたコミュニケーション、読み書き能力の向上 ・他者との関わりを通し、気持ちのやりとりを重ねることで、コミュニケーションの基礎を築く。 ・相互的なやりとりをおこなう活動やあそび(親子ふれあいあそびや、「布あそび」、いないいないばあのあそび、追いかけてこ、ボールあそび、風船あそび、シャボン玉あそび、など)を楽しみ、他者と「楽しい」という気持ちを共有する。 ・視覚情報(写真、イラスト、動作サインなど)を言葉と併せて使用する。 ・呼名に応じる。 ・安心して過ごす、安心して意思表示できることを大事にする。	・様々な活動を通し(主に、集会活動、「くまさん郵便」や「宅急便」「劇あそび」、様々な語彙と表現方法に触れる。語彙の増加、語彙の幅を広げる、文字が読めることにつなげていく。書字練習に取り組む。(5歳児のみ) ・他児と一緒に遊ぶ中での関わり ・役を決める、係を決める、順番を決める、ことを経験する。(適切な意思表示、他者とのやりとり、希望が通らなかったときの気持ちの調整と他児との調整) ・子ども1人1人に合わせた認知課題へ取り組む。
	人間関係・社会性	集団活動への参加、他者との関わり形成、アタッチメント(愛着)の形成と安定、情緒の安定、社会性の発達、自己の理解と行動の調整 ・親子で一緒に活動に参加する ・指導員とあそぶ ・集団活動の楽しさを経験する ・相互的なやりとりをおこなう活動やあそび(親子ふれあいあそびや、「布あそび」、いないいないばあのあそび、追いかけてこ、ボールあそび、風船あそび、シャボン玉あそび、など)を楽しみ、他者と「楽しい」という気持ちを共有する。 ・動作サインや様々な「合図」の意味を知る ・意思を伝える経験をもち、「伝わった」と思う機会を得る ・集団のルールに沿って参加する経験をもつ	・ルールのある活動(「くまさん郵便」「宅急便」「劇あそび」など)に取り組む。その中で、ルールに沿った適切な行動ができるようになる。主体的に参加ができ、意思を皆に伝えることができるようになる。 ・役を決める、係を決める、順番を決める、ことを経験する。(適切な意思表示、他者とのやりとり、希望が通らなかったときの気持ちの調整と他児との調整) ・活動の準備や片付けを他児と一緒にこなす。 ・一斉指示を聞き取り、適切に動けるようになる。 ・皆の前に出て発表する。
	地域支援・地域連携	・アイリスシートの作成(関係機関と連携をとるために、葛飾区が作成した連携ファイルの中の書類) ・関係機関(子ども総合センターや保健センター、保育園、幼稚園、他事業所、療育機関、就学予定の学校など)と文書や訪問、電話などで情報を共有し、子どもたちがそれぞれの所属園や地域の活動の中で、より充実した参加ができるように支援していく。 ・ハロウィンイベントの際に地域の親子にお菓子を配りながら交流 ・ホームページ、Instagramによる活動紹介および理解推進活動	
	移行支援	・保育園や幼稚園を利用するための移行支援 ・移行先の園との連携により、支援方法や環境調整等の共有	
	家族支援	・保護者の方との個別面談を定期的実施 ・親子通所の際に、養育等の相談に応じる ・クラスごとの保護者会の実施 ・個別指導および、夏休みの特別指導の際には、きょうだい児の同席も可としており、共に参加または、見学をおこなうことができる	
	職員の質の向上	・事業所内研修、外部研修の受講 ・事業所内におけるケースカンファレンスなど	
	主な行事等	・夏休みプール活動 ・音楽療法専門の先生をお呼びした「親子おんがくあそび」 ・進級、卒園を祝う会	